

＜調査結果報告＞

県内企業の業況感、2021年度下期はやや下降、 2022年度上期は持ち直すも原材料高などが下押し

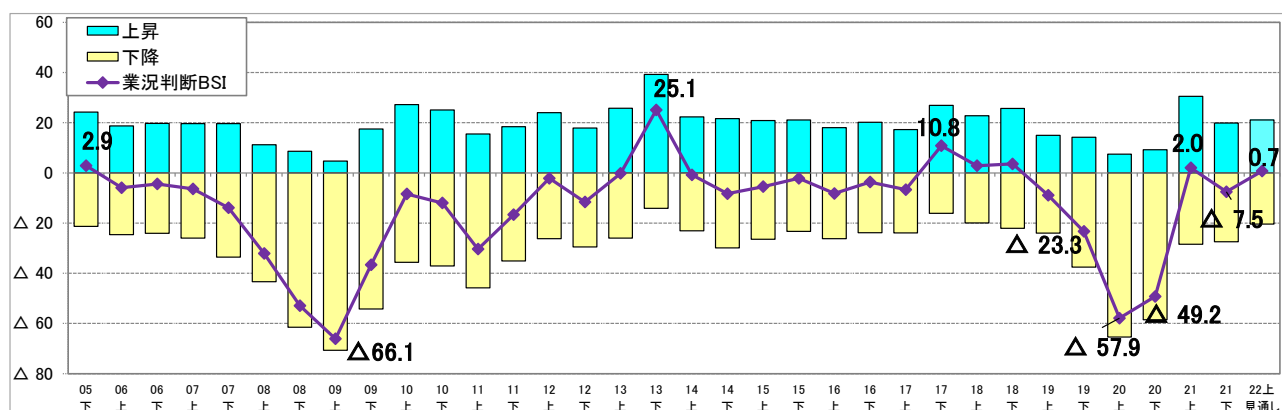
弊社では、企業経営者からみた景気の動向を把握するため、三重県内の事業所を対象に半年ごとに景気見通しの調査を行っています。1月に実施した調査結果を取りまとめましたので報告します。

【担当】株式会社百五総合研究所 コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上（たにのうえ）
三重県津市岩田21番27号 TEL059-228-9105、080-6961-5358

三重県内の企業の業況判断BSI（景気が前年同期と比べて「上昇」と答えた企業の割合から「下降」と答えた割合を引いて指数化したもの）は、

2021年度下期は $\Delta 7.5$ とマイナスに転じ、21年度上期（+2.0）及び前回調査の今期見通し（ $\Delta 2.7$ ）を下回った。22年度上期は+0.7と、若干のプラス見通し。

■図表① 業況判断BSIの推移



★「BSI」＝（景気は上昇とみる事業所数－景気は下降とみる事業所数）／有効回答事業所数 ×100
ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。ここでは前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を示す。

【調査の概要】

- 調査対象： 三重県内の事業所 1,186先（回答413先／回答率34.8%）
- 調査時期： 2022年1月中旬～1月下旬
- 調査方法： アンケート票送付・webアンケート
- 調査対象期間： 2021年度下期（21年10月～22年3月）実績見込み
2022年度上期（22年4月～9月）見通し

※「21年度上期」＝前期、「21年度下期」＝今期、「22年度上期」＝来期 と表記。

※「大・中堅企業」は資本金1億円以上。「中小企業」は資本金1億円未満＋個人事業。

※調査対象は「事業所」であるが、本文及び図表中では「企業」と表記。

【調査結果の要旨】

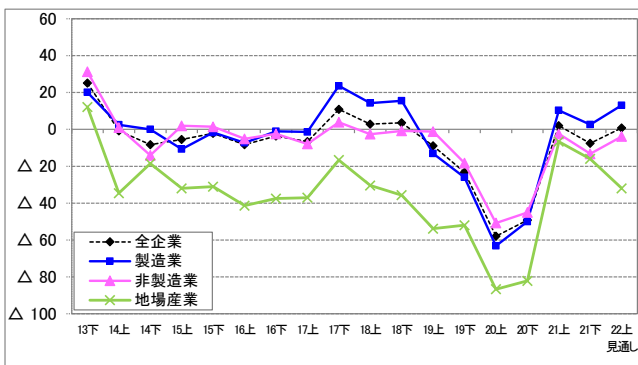
- 三重県内企業の業況判断 BSI は、2021 年度下期は $\Delta 7.5$ とマイナスに転じ、21 年度上期(+2.0) 及び前回調査の今期見通し ($\Delta 2.7$) を下回った。22 年度上期は+0.7 と、若干のプラス見通しとなった。
- 製造業は、今期 9 業種中 4 業種がマイナス、来期は 2 業種がマイナスの見通し。
非製造業は、今期 7 業種中 6 業種がマイナス、来期は 3 業種がマイナスの見通し。 [図表①・②・③]
- 今期、業況判断 BSI が前期より大幅に低下したのは小売 ($\Delta 51.2$ ポイント)、輸送用機器 ($\Delta 32.5$ ポイント)、一般機器 ($\Delta 27.8$ ポイント) など。 [図表②]
世界的な半導体不足やコロナ禍による海外での生産稼働の停滞など、部品供給制約に起因した減産・納品遅延などの影響が大きい。また、原材料価格高騰の影響は業種を問わず広がった。
 - ・ 小売は、自動車販売各社で自動車減産による納車遅れに起因した売上減少の影響が大きく、BSI は今期全業種中最大のマイナス ($\Delta 48.6$) となった (地場産業除く)。
 - ・ 輸送用機器は、自動車減産の影響だが、低下幅は前回調査時点のほぼ見込み通りで BSI(+8.7) はプラスを維持。
 - ・ 一般機器 ($\Delta 5.6$) は、部品供給制約による国内外取引先等各社の稼働停滞、投資見送りなどが影響。
- 来期の業況は、部品不足が徐々に解消に向かい減産の影響が和らぐこと、設備投資の再開、コロナ禍からの需要回復への期待などが上向き要因となるが、部品不足の問題が解消には至らないこと、原材料価格の高騰による収益圧迫などが回復の重石になるとみられる。
 - ✓ 売上高平均 (四半期) は、コロナ感染拡大前の 2019 年の水準を下回るものの、22 年 4-6 月、22 年 7-9 月と来期はわずかずつながら上向く見通し。 [図表④]
 - ✓ 設備投資を実施する企業割合 (投資額 500 万円以上) は、今期 42.6%に低下も、来期は 47.4% に上昇の見通し。 [図表⑤]
 - ✓ 仕入価格 BSI は今期・来期とも +62.4 で大幅な上昇傾向。仕入価格の上昇により、21 年度の業績 (見込み) が「赤字」あるいは「予想利益が大きく減少」は合わせて約 3 割。 [図表⑥・⑦]
 - ✓ 部品・材料不足による「マイナスの影響がある」は 5 割弱と半数近くを占める。一般機器、電気機器、小売、輸送用機械などは 7~8 割。部品・材料不足により、21 年度の業績 (見込み) が「赤字」あるいは「予想利益が大きく減少」は合わせて約 2 割にとどまる。部品・材料不足の解消時期見通しは「21 年度中」あるいは「22 年度上期」が合わせて 19.2%で、来期までの解消を見込む企業は約 2 割にとどまる。 [図表⑧・⑨・⑩]
 - ✓ 経営上の問題では、「原材料高」を挙げた企業が半年前 (21 年 7 月) の 23.3%から 40.9%に大きく上昇。製造業では 64.7%に。 [図表⑪]

■ 図表② 業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

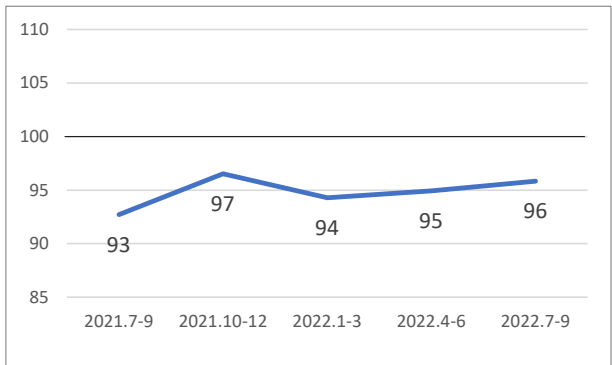
		(前回調査時点)										
		17下	18上	18下	19上	19下	20上	20下	21上	21下 (見通し)	22上 (見通し)	
全企業		10.8	2.9	3.6	△ 8.9	△ 23.3	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 2.7	△ 7.5	0.7
規模別	大・中堅企業	26.2	14.7	6.1	△ 6.3	△ 23.8	△ 66.7	△ 47.2	35.3	11.8	△ 4.0	10.0
	中小企業	8.2	0.7	3.2	△ 9.3	△ 23.2	△ 56.6	△ 49.5	△ 2.3	△ 4.6	△ 8.0	△ 0.6
業種別	製造業	23.6	14.3	15.5	△ 13.1	△ 26.0	△ 63.2	△ 50.0	10.3	6.1	2.6	13.1
	食料品	△ 4.7	△ 7.7	△ 2.7	0.0	△ 24.1	△ 37.8	△ 40.0	△ 21.4	△ 22.2	△ 18.5	11.1
	繊維	12.5	△ 11.1	11.1	△ 12.5	△ 50.0	△ 87.5	△ 75.0	62.5	25.0	△ 16.7	△ 16.7
	印刷	△ 10.0	△ 42.9	△ 50.0	△ 10.0	△ 33.3	△ 62.5	△ 88.9	10.0	20.0	△ 14.3	△ 14.3
	石油・化学	43.8	13.3	35.3	△ 14.3	△ 40.0	△ 64.7	△ 61.5	10.0	10.0	44.4	66.7
	窯業・土石	0.0	18.8	13.3	△ 7.1	△ 14.3	△ 57.1	△ 38.5	△ 9.1	9.1	10.0	10.0
	一般機器	47.6	50.0	△ 5.6	△ 40.0	△ 23.8	△ 64.0	△ 71.4	22.2	11.1	△ 5.6	16.7
	電気機器	50.0	12.5	7.7	△ 6.7	△ 11.8	△ 85.7	△ 37.5	7.1	7.1	6.7	20.0
	輸送用機器	50.0	22.7	13.3	△ 23.3	△ 39.1	△ 81.5	△ 38.5	41.2	8.8	8.7	13.0
	その他製造	26.2	25.9	47.6	△ 10.6	△ 20.9	△ 62.5	△ 48.9	△ 6.3	12.5	10.5	7.9
	大・中堅企業	36.8	23.1	8.8	△ 3.1	△ 38.2	△ 74.2	△ 46.2	50.0	12.5	4.5	18.2
	中小企業	20.3	12.1	17.0	△ 15.2	△ 23.1	△ 61.0	△ 50.7	3.5	5.0	2.3	12.2
	非製造業	3.9	△ 2.6	△ 0.8	△ 1.2	△ 18.3	△ 50.8	△ 45.1	△ 2.4	△ 5.7	△ 13.2	△ 3.8
	建設	13.5	5.1	3.5	1.2	△ 12.5	△ 23.0	△ 34.7	△ 11.1	△ 11.3	△ 16.9	△ 12.3
	不動産	21.4	6.3	0.0	△ 6.7	△ 15.4	△ 54.5	△ 53.8	△ 44.4	△ 22.2	△ 20.0	△ 10.0
	卸売	3.6	3.1	10.3	△ 6.3	△ 18.5	△ 63.3	△ 56.0	△ 4.2	4.2	△ 7.7	0.0
	小売	△ 21.2	△ 20.6	△ 14.3	△ 2.9	△ 48.5	△ 56.1	△ 21.4	2.6	△ 23.7	△ 48.6	△ 18.9
	運輸・倉庫	8.0	△ 8.8	8.3	3.7	△ 24.1	△ 76.0	△ 73.3	3.0	△ 3.0	△ 11.1	0.0
	観光・宿泊	△ 15.8	△ 22.7	△ 13.6	21.4	10.0	△ 100.0	△ 78.3	9.1	0.0	△ 8.3	4.2
	サービス	7.7	3.8	△ 5.8	△ 8.7	△ 14.9	△ 40.7	△ 39.6	6.0	10.2	15.6	13.3
大・中堅企業	11.1	5.6	3.1	△ 6.7	△ 3.6	△ 59.4	△ 48.1	22.2	11.1	△ 10.7	3.6	
中小企業	2.9	△ 3.9	△ 1.4	△ 0.5	△ 20.2	△ 49.6	△ 44.7	△ 5.4	△ 7.8	△ 13.6	△ 4.9	
地場産業	△ 16.7	△ 30.4	△ 35.7	△ 53.8	△ 52.0	△ 86.7	△ 82.1	△ 6.7	△ 27.6	△ 16.0	△ 32.0	
製材	△ 37.5	△ 25.0	0.0	△ 66.7	△ 50.0	△ 57.1	△ 33.3	25.0	12.5	28.6	△ 42.9	
真珠養殖	100.0	—	—	—	100.0	—	—	△ 100.0	—	—	—	
真珠加工販売	△ 33.3	0.0	△ 60.0	△ 25.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	
銑鉄鋳物	33.3	33.3	50.0	0.0	△ 75.0	△ 100.0	△ 100.0	100.0	100.0	△ 100.0	△ 100.0	
萬古焼製造	0.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 60.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 33.3	△ 40.0	△ 20.0	
萬古焼卸売	△ 44.4	△ 83.3	△ 77.8	△ 75.0	△ 75.0	△ 88.9	△ 90.0	△ 36.4	△ 54.5	△ 37.5	△ 37.5	

※地場産業と繊維、印刷、石油・化学はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

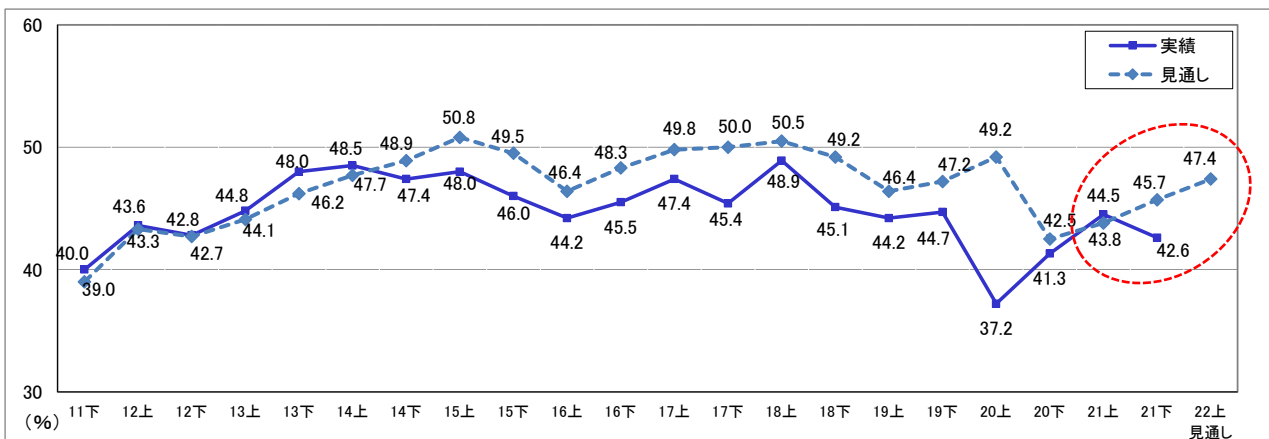
■ 図表③ 業況判断BSI（業種別）推移



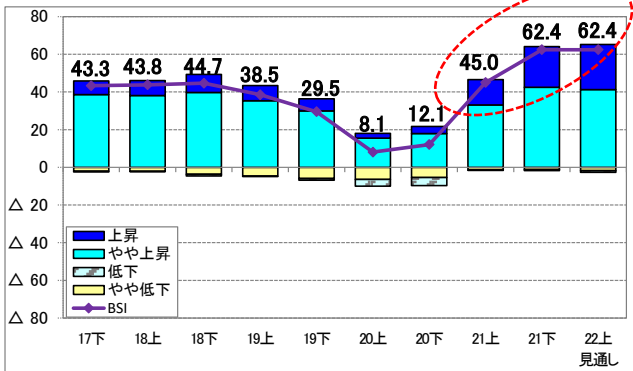
■ 図表④ 売上高平均（見込み）（2019年=100）



■ 図表⑤ 設備投資実施企業割合の推移（投資額500万円以上）

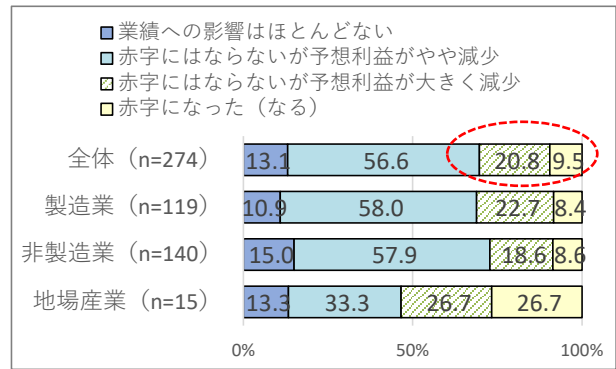


■ 図表⑥ 仕入価格BSIの推移

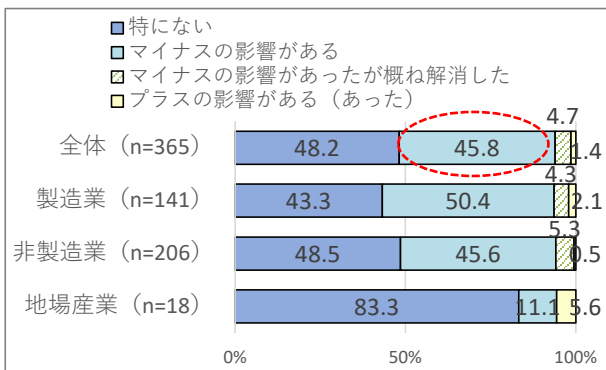


※仕入価格 BSI (「上昇」 - 「低下」)

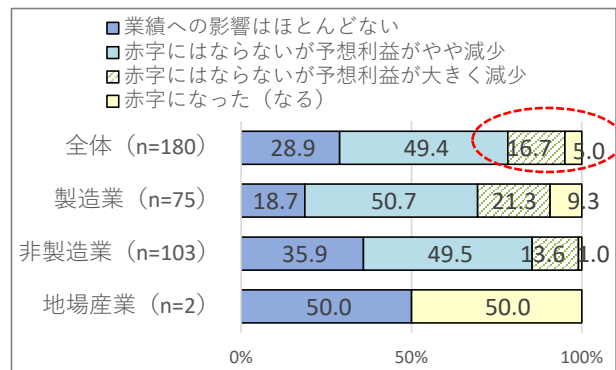
■ 図表⑦ 仕入価格上昇による 21年度業績への影響 (見込み)



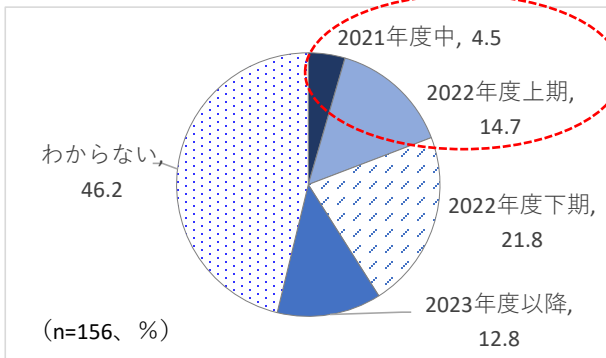
■ 図表⑧ 部品・材料不足による 生産・販売・サービス供給面への影響



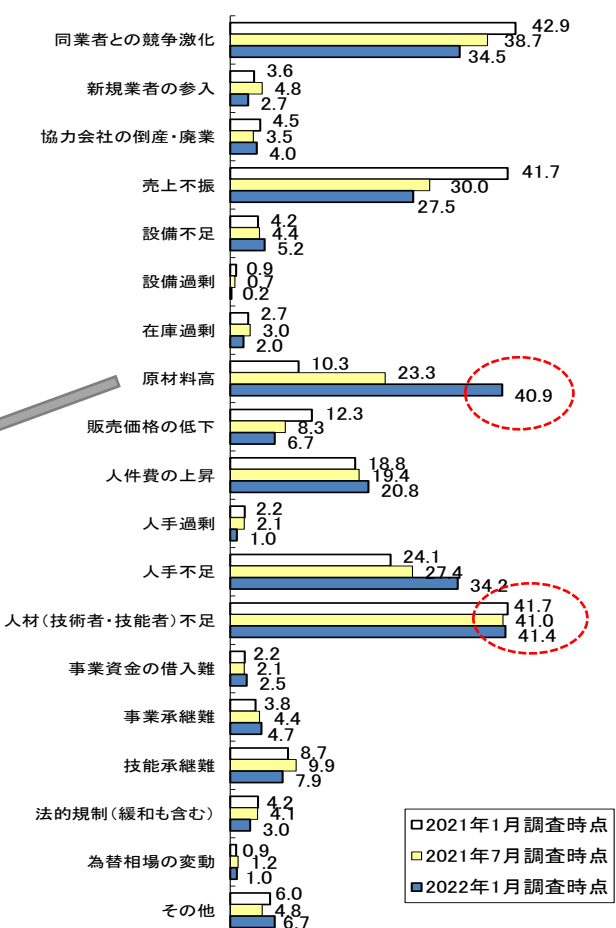
■ 図表⑨ 部品・材料不足による 21年度業績への影響 (見込み)



■ 図表⑩ 部品・材料不足の解消時期の見通し



■ 図表⑪-1 経営上の問題 (複数回答)



■ 図表⑪-2 「原材料高」(業種別の推移)

